

添付資料 プレーパーク事業

NPO 法人岡山市子どもセンターは、2001年に発足し、子どもの豊かな育ちを継続的に支援しています。子どもにとって「遊ぶ」ことは、生きることそのものです。子どもの権利条約31条にもそのことが明記されています。自ら生きる力を育てる「遊び」の重要性、生きる力の育成につながる実体験活動の重要性、子どもを取り巻く地域コミュニティの重要性について広く社会に発信し、子どもが豊かに育つ環境をつくることを目指しています。その中の一つの事業としてプレーパーク事業があり、「子どもの自由な遊び」をめざしています。

1. 常設のプレーパーク経緯と継続

おかやまプレーパークは、2002年3月に浦安総合公園西地区で1日プレーパークを開催したのが、始まりです。その後、少しずつ開催日数と関わる市民ボランティアを増やしながらかつてきました。2008年4月から国際児童年記念公園こどもの森で週5日の連続開催をスタートし、プレーリーダーが常駐する遊び場を年間247日開催しました。2009年には、常設開催を続けながら、新たに「出張プレーパーク」を始めました。

2013年度には、岡山市からの委託事業「緑の遊び場（ESD）プロジェクト」を受け、2015年度には「岡山市プレーパーク普及事業」の委託を受け、プレーパークを継続してきた経験を活かして実施しました。どちらも行政との協働が必須であり、遊び場を開催する地域の方々と話し合い、協働の考え方で進めてきました。

継続する中で東日本大震災で広域避難された方々への対応やコロナウイルス感染拡大を受けて、様々な場所や規模で開催しました。開催数、参加者数、ボランティア数を増やしながらかつています。

年度	おかやまプレーパーク		出張プレーパーク		緑の遊び場プロジェクト		普及事業プレーパーク開催	
	開催日数	参加者数	出張回数	参加者数	開催日数	参加者数	開催日数	参加者数
2008	247	17,691						
2009	245	17,144	3					
2010	236	16,273	11	6,342				
2011	128	16,659	9	1,116	1	560		
2012	233	17,600	8	667	5	2,450		
2013	224	17,300	9	2,799	6	1,825		
2014	206	19,299	12	2,648	7	2,033		
2015	214	14,630	3	747	2	700	5	1,780
2016	207	15,372	4	663	2	1,050	6	2,060
2017	198	14,046	4	738	2	760	6	1,150
2018	198	13,198	9	586	3	716	8	995
2019	216	15,691	3	208	3	700	7	957
2020	141	7,107	3	178	2	900	7	712
2021	174	8,576	4	360	2	984	7	639
2022	214	12,586	15	1,510	3	629	7	728
2023	214	12,328	11	857	3	1,069	6	892
2024	204	11,440	21	6,400	3	1,732	6	432
計	3499	246,940	129	25,819	44	16,108	65	10,345

2. 多様な人や団体との協働

子どもの豊かな育ちを目指し、「遊び」への理解をさらに進めていきたいと思ひます。プレーパーク事業において、子どもの「遊び」を保障するためには、行政をはじめ、個人・団体等、多様な人と課題を共有し、その解決に向けて子どもを含む多様な人と「協働」することが重要です。子どもが意見を言える場をつくり、その意見を尊重しながら、子どもにとって自分らしくいきいきと過ごせる遊び場をつくっていききたいと思ひます。

現在、協働で進めている各団体とも、「遊び」の重要性をさらに広げていけるよう、また、市内各地にプレーパークが広がるよう、ネットワークを活用していきます。

ネットワークを広げる活動も継続して行います。普及事業のプレーリーダー養成講座で学んだ人たちが、団体を立ち上げプレーパークを開催していきます。また、活動を継続していることで、小学生だった子どもが大学生になり、ボランティアとして関わっています。中学生・高校生だった参加者が親になり、子どもを連れて参加するなど三世代での参加も増えていきます。遊びに来ていた人が、企画・運営をする人となり、子どもの遊びを通して子どもの成長を喜ぶ人へと変わっていきます。ケースをいくつも見てきました。「子どもの育ち」を支える人の色々な関わり方を考えていききたいと思ひます。

多様な人と協働で物事を進めることは、容易ではありません。時間と労力、資金が必要です。どんな場合でも粘り強く、そして真摯に向き合い、「話す」ことを大切に活動を継続していききたいと思ひます。これからの未来を描くためにも、子ども・大人が一緒になって平場で話をすることから始めていききたいと思ひます。言葉や様々な知識、経験の壁を乗り越え、子どもが安心して話せる大人になること、安心して話せる場をつくることを常に意識し、子どもと一緒に未来の岡山のまちを描いていききたいと思ひます。子どもにとってやさしいまちは、大人にとってもやさしいまちです。多様な人と繋がりながら、誰もが自分らしく過ごせる岡山のまちを描いていききたいと思ひます。

協働で進めた事業

	事業の内容	協働相手
2012	子どもの虐待防止 オレンジリボンフォーラム	NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 認定NPO法人児童虐待防止全国ネット ワーク
2013	プレーパークを開催 (市内7か所)	岡山市都市整備局庭園都市推進課 緑の遊び場 (ESD) プロジェクトを受託 ～現在に至る
	プレーパークの開催	岡山国際音楽祭
	プレーパークの開催	中国短期大学～現在に至る
	プレーパークの立ち上げ支援	津山市高倉地域 勝央町
	イベント「こびと図鑑」の企画運営	山陽新聞事業局
	東日本大震災による広域避難親子の受け 入れ	一社) ほっと岡山
	大学生の受け入れ	岡山県立大学～現在に至る 新見公立大学～現在に至る 中国短期大学～現在に至る 岡山市市民協働局
2015	プレーパーク普及事業	岡山市おかやまっ子育て局地域子育て 支援課～現在に至る
2016	広域避難親子とのバス遠足	一社) ほっと岡山
2018	プレーパーク仕様のラッピング自動販 売機を設置	アサヒ飲料株式会社
2021	「おかやま親子応援プロジェクト」の 呼びかけ団体	NPO法人岡山NPOセンター
		YMCAおかやま
		NPO法人チャリティサント
その他	プレーパークの名称	ももっ子広場プレーパーク 北長瀬みんなの遊び場 亀山城跡プレーパーク あそび屋。おせと まんなかプレーパーク 吉備の中山プレーパーク えがおのにじ 岩原山プレーパーク 備前プレーパーク 酒津プレーパーク